

2015年5月15日

理事会資料【イベント学会 2015年度活動計画案】

スタジアムイベント研究会設立計画（案）

（設立趣旨）

2020 東京オリンピック・パラリンピックとポスト東京オリパラを踏まえ、新国立競技場をはじめとする大型スタジアムにおけるイベントのあるべき事業プランを研究し、政策提言を行う。

（研究会会員の構成）

座長：萩裕美子 東海大学教授・イベント学会理事（設立総会にて選出予定）

副座長：研究テーマ等により分科会等を編成し各分科会等に副座長を置く。

研究員：イベント学会会員の中から本研究会会員として希望者を募集する。

客員研究員：研究テーマ等に合わせて外部から随時招聘する

（研究テーマ等による分科会編成） *資料①「分科会編成案」参照

「コンセッション事業部会」

部会長：小松史郎（集客都市研究所 代表）

「イベントプログラム研究会」

部会長：橋爪紳也（大阪府立大学 21 世紀科学研究機構 教授）

「スポーツM I C E研究会」

部会長：福井昌平（㈱コミュニケーション・デザイン研究所 代表）

（活動期間）

2015年、2016年の2年間を予定

（2015年度活動計画）

4月：設立構想案に基づく研究会設立準備会を開催*資料②「準備会報告書」参照

6月：イベント学会の総会後に本研究会の設立総会を開催（会則、役員、予算案等承認）

6月：各分科会開催（以後月例とし分科会ごとに研究計画を策定する）

9月：第二回総会（分科会の活動中間報告、イベント学会研究大会での発表計画を決定）

10月：研究成果報告書（提言書）のとりまとめを開始（分科会単位）

11月：イベント学会研究大会で中間発表（分科会単位）

12月：第三回総会（提言書の完成）、記者発表会開催

2016年1月：シンポジウムを開催

2月：第四回総会（2015年度活動総括、2016年度活動計画案検討）

3月：第五回総会（2016年度活動計画決定）

(研究会の運営計画) *資料③「会則案」参照

- ・ イベント学会会員有志による自主研究グループとして研究会を設立し運営する。
- ・ 予算執行、スケジュール調整、渉外等の管理業務は会則に従って研究会事務室が行う。
- ・ 新規会員の入会勧奨、広報、報道対応についてはイベント学会事務局の支援をいただく。

(予算) *資料④「予算案」参照

- ・ 2015年度予算を250万円として研究会参加会員の会費等によって賄うこととする。

(設立発起人) 14名*順不同、敬称略

梶原貞幸 (淑徳大学)、工藤康宏 (順天堂大学)、小松史郎 (集客都市研究所)、
小林政則 (イベント支援ネットワーク)、澤内隆 (港区観光協会)、
上代圭子 (東京国際大学)、野川春夫 (順天堂大学)、萩裕美子 (東海大学)、
橋爪紳也 (大阪府立大学)、濱口博行 (広島経済大学)、
福井昌平 (㈱コミュニケーションデザイン研究所)、牧村真史 (㈱集客創造研究所)、
宮木宗治 (東洋大学)、師岡文男 (上智大学)

以上